

# 事業概要シート

施策 0203 教育環境の充実

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計

※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。

※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	心の教室相談員配置事業	現状維持	予算額	20,819 千円
			《 》	15,398 《 》千円
事業期間	平成21年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	20,819 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

大村市不登校対策の一環として実施し、児童生徒の気軽な相談相手として、市内の小・中学校に「心の教室相談員」を配置し、心に悩みを抱える児童生徒の相談体制を整えることで、児童生徒の心の安定を図る。

### ◎相談業務の状況

「心の教室相談員」の相談件数は増加傾向にあり、昨年度は一昨年度より約3,000件増の10,626件であった。児童生徒が教員や家族に話しにくいことを相談できる者として定着してきたと思われる。また、小学校では相談以外にも離席したり教室を飛び出したりする特性のある児童へも対応していただいており、児童生徒の心の安定を図るためになくはない存在である。

### ◎不登校対策の充実のために

東大村小と黒木小の2校には未配置であるが、両校にはスクールカウンセラーも未配置であり、義務教育の性質上、市内全小中学校で同じ相談体制が整備されることが喫緊の課題である。また、授業中に教室におれず別室でクールダウンしている児童はこれらの学校にもいるため授業支援も必要である。これらの対応により、不登校児童生徒の減少に寄与できるものとする。

## <大村市 不登校対策>

- (1) 教育委員会（教育相談室）
  - ①教育相談員 1名
  - ②スクールソーシャルワーカー（SSW）4名
  - ③適応指導教室（あおば教室）4名
- (2) 小学校（15校）
  - ①スクールカウンセラー（SC）8校に配置
  - ②心の教室相談員 現在13校に配置
- (3) 中学校（6校）
  - ①スクールカウンセラー（SC）全6校に配置
  - ②心の教室相談員 全6校に配置
- (4) その他の機関
  - ①こども政策課
  - ②保護課
  - ③児童相談所
  - ④各医療機関

上記（1）～（4）が連携して子どもたちに関わり不登校対策を講じている。

## 【背景】

- ・19校に19名の相談員を配置しているが、東大村小と黒木小にも増設したい。
- ・年2回（4月と10月）に研修会を実施。
- ・スクールカウンセラーや教育相談員、SSW、関係機関と連携しながら児童生徒の相談等に対応。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	橋口 智秀
担当者	木場 隆司	問合せ先	(0957)53-4111(内線373)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	相談員活用件数	計画値 件	10,626	9,000	9,000	9,000	9,000
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	児童生徒の相談員活用率 (相談件数/全児童生徒数)	計画値 %	116.3	100	100	100	100
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	15,000	15,372	15,398	20,819	20,819	20,819	108,227
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	15,000	15,372	15,398	20,819	20,819	20,819	108,227
人件費	1,848	1,091	727	727	727	727	5,848
職員(人)	0.25人	0.15人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.80人
時間外勤務(h)	15h						15h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	16,848	16,463	16,125	21,546	21,546	21,546	114,075

妥当性 (市の関与)	相談員の業務が、児童・生徒と直接ふれあいながら相談にあたるという特殊性を持っているため、市による人的配置支援は必要不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	現在、教育委員会の重点施策として取り組んでいる大村市不登校対策を推進していく上で大きな原動力となる事業でもあり、相談員の活用率も高く、事業成果は高い。
効率性 (コスト)	現時点ではコスト削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり